

令和6年度 福井県立奥越特別支援学校 学校関係者評価書

(問)

- (1) 学校評価書の目標に対する成果や結果の分析は適切か。
- (2) その他(学校運営全般に関する御意見など)

(意見を聞いた方)

教育関係者代表、福祉関係者代表、事業所代表、昭和町区長代表、PTA役員

(意見欄)

(1) 目標に対する成果および結果の分析について

【地域交流について】

・「地域が教室」のコンセプトによる教育活動を地域の方が応援してくれている。教職員も今後も自信を持って取り組んでほしい。今後、道の駅への販売参加や、福井県立大学恐竜学部の学生との交流なども考えてはどうか。

・昭和町と学校の接点として、年2回行われた地域販売会が大変良かった。子どもたちの社会性も芽生えると思う。

【危機管理について】

・安否確認メールの訓練について、実際に大災害が起こった際に、通信網が寸断された場合の対応も考えてほしい。

【その他】

・子どもたちや先生が自信を持って頑張っていることがよくわかった。アンケートからも保護者の満足度がうかがえ、安心して学校に預けていると思う。

(2) その他(学校運営全般について)

・地域共生社会の実現に向けて、地域で何か取り組むことはできないか。例えば、地域の方と一緒に学ぶ機会を設けるなど考えてはどうか。

・教職員の働き方改革において、子どもたちに向き合う時間を増やしてほしい。

・災害訓練など学校教育活動の保護者への周知について、事前に家庭にもっと伝えておくというのではないか。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

・地域に開かれた学校づくりをさらに推し進め、子どもたちが将来の生活へのイメージをつかむことにつながるような、地域との交流や対外的な活動に参加できる機会を充実させていきたい。新たな交流先の開拓も行っていきたい。さらに、保護者や地域への発信(PR)も充実させたい。

・防災体制や役割についての早期周知、意識向上に努めるとともに、計画的に研修や訓練を実施していく。安否確認メール訓練に加えて、引き渡し訓練も行いたい。感染症対策についても引き続き十分留意しながら、児童生徒の安心・安全な学校生活の充実を図りたい。

・委員会での御意見を校内でも共有して各校務部・学部で検討し、次年度のスクールプランに反映させ、具体的な取組として実現していきたい。